

# 安全宣言

我が国の労働災害は、長期的には減少傾向にあるが、令和三年における労働災害による死者数は前年より六十五人増加して八百六十七人となり、四年ぶりに増加に転じた。

また、休業四日以上の死傷者数も令和二年より一万八七六二に増加して十四万九九一八人となり、これは平成十年以降で最多の数となっている。現在、死者数、休業四日以上の死傷者共に全国的には増加傾向にある。

一方、宮崎県内の昨年一年間の労働災害による死者数は令和二年と同数の十三人で、休業四日以上の死傷者数は令和二年より一一一人増加して一六八七人となった。また、令和四年における県内の死者数は令和三年同時期と比較して一人の減少となったが既に六人の尊い命が失われている。

全国的には死亡者数、休業四日以上の死傷者数は増加傾向にあり、宮崎県内においても休業四日以上の死傷者数が増加傾向にあることから、近年増加している高齢労働者対策や転倒や腰痛などの行動災害の発生を防止するため、労使双方による基本ルールを遵守するための取組みが求められる。

働く方々の一人一人がかけがえのない存在であり、それぞれの事業場において、一人の被災者も出さないという基本理念のもと、日々の仕事が安全で健康的なものとなるよう、不断の努力が必要であることから、わが宮崎県佐土原地区安全衛生協議会においては、三十余年にわたる安全衛生活動で構築した当協議会としての安全文化を更に発展させていかなければならない。

本日の安全大会を契機に心を新たにし、

## 安全は 急がず焦らず怠らず

をスローガンに、職場における安全衛生管理を一層向上させることに全力を尽くすことを誓う。

右、宣言する。

令和四年七月八日

宮崎県佐土原地区安全衛生協議会